

令和6年度

学生によるオレンジリボン運動

日本赤十字社助産師学校 実施報告書



実施主体 日本赤十字社助産師学校 マタニティクラス「にじいろぐみ」

実施内容 学生企画 母親学級

①事前に取り組んだ内容

9月開催のマタニティクラスに向けて、「育児」担当の学生にオレンジリボン運動に関する内容を織り込むように指導した。指導案を作成する過程で、学生はオレンジリボン運動や児童虐待防止、産後の育児不安の軽減について深く考えていた。リハーサルを繰り返す中でチームメンバーと話し合い、その必要性を共有していた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

児の泣きへの対処について説明し、育児を支える相談窓口を紹介した。媒体である模造紙にオレンジリボンを大きく示し、説明を加えた。学生全員が肩にオレンジリボンをつけてマタニティクラスを開催した。

③オレンジリボン運動を終えて…

コロナ禍が明けてようやく妊婦さんを招いてマタニティクラスを開催できた。妊婦さんが産後に楽しく育児をしてもらうためにはどうしたらいいかを学生は試行錯誤することで、虐待防止やオレンジリボン運動についての学びを深めていた。

クラス当日にリボンを身につけることで、より意識を高めることができた。さらに、学生がリボンを指し示し、リボンの説明をした。児の泣きへの対処、一人で抱え込まないこと、育児のサポートの必要性など、工夫を凝らして説明することができた。

学生自身がこれから助産師として活動するときの礎となり、1人1人の妊産褥婦さんへの一助となるのではないかと感じた。

